

第6回環境やまがた大賞受賞

贈呈式は、平成17年6月21日(火)に遊学館において行われ、知事から表彰状が手渡されました。

受賞団体の概要

山形県立北村高等学校(尾花沢市)

活動(功績)の概要

開校以来「地域社会への貢献」を教育の柱とし、広い意味での環境教育を推進することにより、自然への畏敬と郷土愛を持ち、広く社会に貢献できる人材を育成することを目標とし、環境美化運動に着手した。環境美化運動の他にも、校内のごみ減量化に取り組み、大きな成果をあげている。

また、小・中学校とも連携した清掃活動等を実施しており、行政区を越えた活動を行っている。平成16年には、学校を地域の自然環境保全の象徴の地とする「千年桜計画」をスタートさせている。



(環境美化活動の様子)

受賞理由

「地域社会への貢献」を教育の柱とし、生徒自身も地域の一員と位置付け、地域の環境美化活動に自主的・積極的に参加している。また、自校を地域の自然環境保全の象徴の地とする「千年桜計画」をスタートさせた。特に、生徒による自主的な活動が、行政区を越え、かつ小・中学校との連携した活動へと広く展開されている点が高く評価できる。

田字草保存会(村山市)

活動(功績)の概要

大倉ため池での田字草の保全の様子

絶滅危惧種に指定されている田字草(でんじそう)が、大倉ため池に群生しているのが確認された。これは全国的に希であり、地域ぐるみで守っていこうと「田字草保存会」を設立した。住民や関係機関が連携しながら、実態調査や小学生の環境学習等を通して、地域ぐるみで活動している。自然に親しみ、大切に
する心を育みながら地域に自信と誇りを持ち未来に引継ぐ活動を行っている。



(絶滅危惧種「田字草」と保存活動)

受賞理由

絶滅危惧種に指定されている「田字草」が地区内のため池に確認されたのを契機に設立された「田字草保存会」は、生息地の環境整備を始め、生態の実態調査活動、小学生の環境学習など多種にわたる活動を、地域をあげて取り組んでいることが評価できる。

水辺で遊べるわらっ子広場整備促進協議会(長井市)

活動(功績)の概要

水辺で遊ぶ機会が少なくなった少なくなった子どもたちに、川の良さを教えながら、昔の環境を取り戻せるような保護活動を実施している。草刈りやごみ拾いなどのボランティア活動だけにとどまらず、流域の整備計画と、子どもたちの自然学習体験イベントを立案・実施し、行政や学校、公民館、他団体などとともに、様々な活動を展開している。賛同する企画であれば、他団体のイベントにも積極的に参加している。



(水辺で遊ぶ子ども)

受賞理由

「地域にある自然を利用した子どもたちの自然体験活動を支援したい」という目的で、地域の住民が集まり活動が開始された。子どもたちの自然体験活動、「白川水辺環境夢マップ」の作成、「水辺で遊べるわらっ子広場」整備や講演会などの学習活動を主体的に行っている。昔あった環境を取り戻し、子どもたちに残すといった、地域の環境と子どもたちの将来を見据えた活動が評価できる。